色彩景観の基本的な考え方

丘陵地の緑が映える自然な印象の色彩景観の形成

丘陵地ゾーンでは、景観の骨格となっている豊かなみどりが映える景観を形成するために、派手な色彩や極端に明るい色彩を避け、植物の葉のみどりよりも穏やかな色彩を基本とし、自然な印象のある暖色系の中・低彩度色に誘導します。

特に樹林地を背景とする建築物等は、穏やかな色彩を用いるばかりでなく、形態や色彩の分節化を行い、周囲の自然になじむ外観を形成することが大切です。

色彩基準に適合した色彩の例

（上段：マンセル記号、下段：日本塗料工業会標準色見本帳番号）

建築物の外壁

5.0YR8.0/1.0 [15-80B]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	N8.0 [N-80]
5.0YR7.5/1.0 [15-75B]	7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	10YR7.0/0.5 [19-70A]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	N7.5 [N-75]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR6.5/0.5 [19-65A]	10YR6.5/1.0 [19-65B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.0/1.5 [25-70C]	N7.0 [N-70]
5.0YR6.0/2.0 [15-60D]	7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR5.0/1.0 [19-50B]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y6.0/2.0 [25-60D]	N6.5 [N-65]
5.0YR5.0/2.0 [15-50D]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	10YR4.0/3.0 [19-40F]	10YR5.0/4.0 [19-50H]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	5.0Y5.0/2.0 [25-50D]	N6.0 [N-60]

建築物の屋根

10R2.0/2.0 [09-20D]	5.0YR3.0/3.0 [15-30F]	7.5YR4.0/2.0 [17-40D]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5.0Y4.0/1.0 [25-40B]	N4.0 [N-40]
10R2.0/1.0 [09-20B]	5.0YR2.0/1.0 [15-20B]	7.5YR3.0/3.0 [17-30F]	10YR3.0/0.5 [19-30A]	10YR2.0/1.0 [19-20B]	2.5Y3.0/1.0 [22-30B]	5.0PB3.0/2.0 [75-30D]	N3.0 [N-30]

コラム Column　建築物等の色彩選定は大きな色見本で

大規模な建築物の色彩は大きな色見本で

色彩が与える印象は面積の大小によって大きく変わるものです。一般的には面積が大きくなると、その特徴が強調されると言われており、鮮やかな色はより派手に、暗い色はより重く感じられるものです。

規模の大きい建築物等の色彩は、身の回りの衣服や印刷物と異なり、非常に大きな面として現れるものです。また、その変更は容易ではありません。

このため、アクセサリー感覚で色彩を選択すると、頭で思い描いていた以上に強い表現となり、周辺から突出してしまいかねません。

建築物等の色彩を選ぶ際は、このような色彩の面積効果を念頭に、できるだけ大きな色見本を用意したり、完成後の様子を想像して鮮やかさや暗さを一段抑えるなどの慎重な検討が必要です。

町田市景観計画による色彩の基準

景観計画による届出対象行為と規模

【建築物の建築等】

建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更で次のいずれかに該当するもの

・高さ≧10m
・集合住宅で戸数が9戸以上のもの
・延べ面積≧1,000㎡

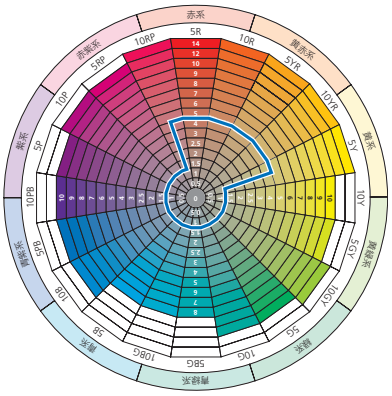
【工作物の建設等】

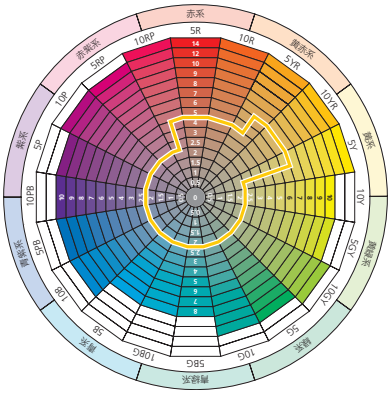
工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更で次のいずれかに該当するもの

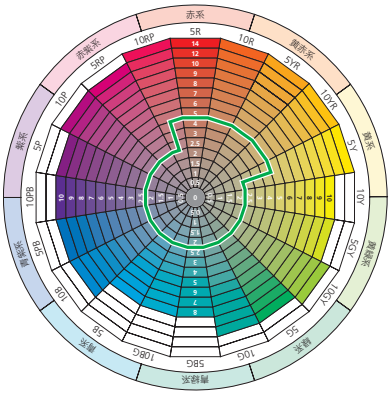
・高さ≧10m　など

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0R～4.9YR	4以上8.5未満	4以下
	5.0YR～5.0Y		
	その他		1以下
強調色	0R～4.9YR	——	4以下
	5.0YR～5.0Y		6以下
	その他		2以下
屋根色（勾配屋根）	0R～5.0Y	6以下	4以下
	その他		2以下

色相ごとの彩度許容範囲



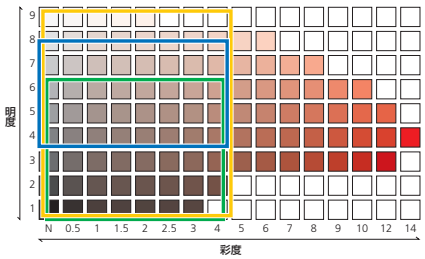




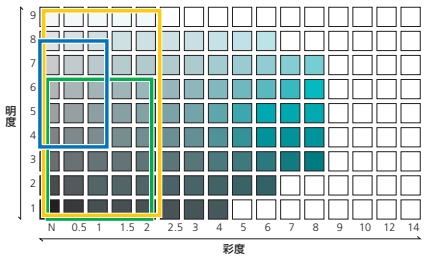
凡例

- 外壁基本色の使用可能範囲（外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択）
- 強調色の使用可能範囲（外壁各面の1/5以下で使用可能）
- 屋根色の使用可能範囲

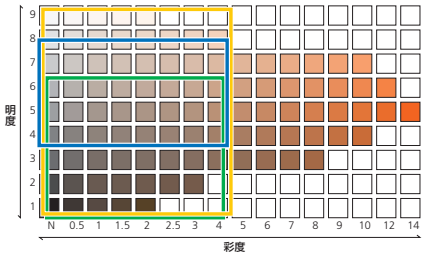
R（赤）系の色相



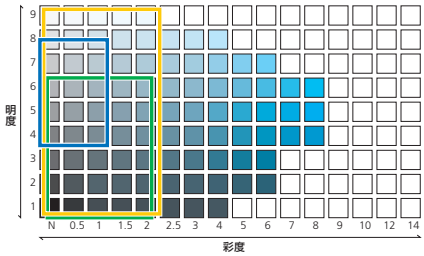
BG（青緑）系の色相



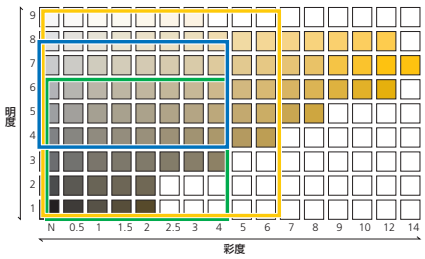
0YR～4.9YR（黄赤）系の色相



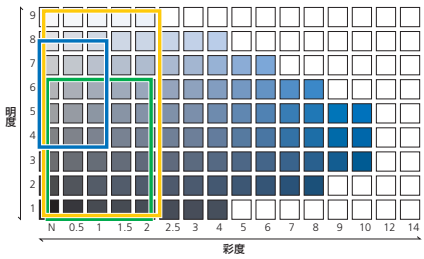
B（青）系の色相



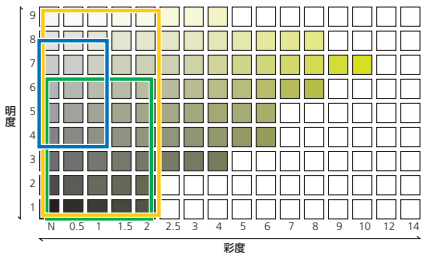
5YR（黄赤）～5Y（黄）系の色相



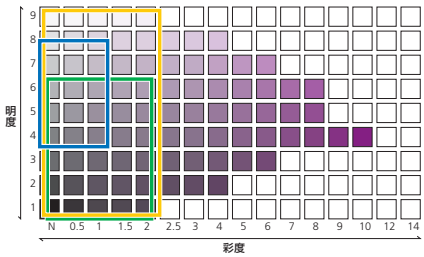
PB（青紫）系の色相



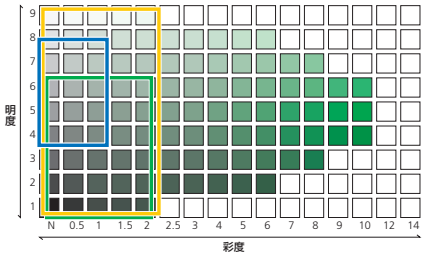
5.1Y（黄）系～GY（黄緑）系の色相



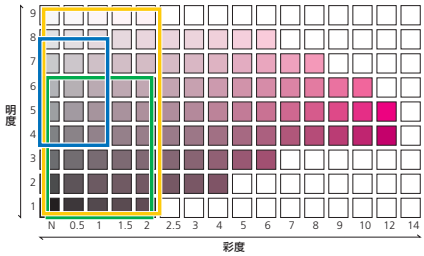
P（紫）系の色相



G（緑）系の色相



RP（赤紫）系の色相



色彩景観の基本的な考え方

暖かく落ち着いた雰囲気のある色彩景観の形成

住まい共生ゾーンでは、住宅地や身近な商業地の景観にふさわしい暖かさや落ち着きが感じられる景観を形成するため、派手な色彩や冷たい印象の色彩を避け、暖かく落ち着いた雰囲気のある暖色系の中・低彩度色に誘導します。

低層部など人の目に触れやすい場所では、素材等を考慮し豊かな質感を持つ材料の使用や、植栽の充実など、住まい手の愛着を深めるような色使いも大切です。

色彩基準に適合した色彩の例

（上段：マンセル記号、下段：日本塗料工業会標準色見本帳番号）

建築物の外壁

5.0YR8.0/1.0 [15-80B]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR8.0/2.0 [19-80D]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	N9.0 [N-90]
5.0YR7.5/1.0 [15-75B]	7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	N8.0 [N-80]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR7.0/0.5 [19-70A]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.0/1.5 [25-70C]	N7.5 [N-75]
5.0YR6.0/2.0 [15-60D]	7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR6.5/0.5 [19-65A]	10YR6.5/1.0 [19-65B]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y6.0/2.0 [25-60D]	N7.0 [N-70]
5.0YR5.0/2.0 [15-50D]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR5.0/1.0 [19-50B]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	10YR5.0/4.0 [19-50H]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	5.0Y5.0/2.0 [25-50D]	N6.0 [N-60]

建築物の屋根

10R2.0/2.0 [09-20D]	5.0YR3.0/3.0 [15-30F]	7.5YR4.0/2.0 [17-40D]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5.0Y4.0/1.0 [25-40B]	N4.0 [N-40]
10R2.0/1.0 [09-20B]	5.0YR2.0/1.0 [15-20B]	7.5YR3.0/3.0 [17-30F]	10YR3.0/0.5 [19-30A]	10YR2.0/1.0 [19-20B]	2.5Y3.0/1.0 [22-30B]	5.0PB3.0/2.0 [75-30D]	N3.0 [N-30]

コラム Column

光と色彩１ …色の反射と派手な色彩

グレーの自動車や樹木まで黄色に染まる

私たちが感じているまち並みの色彩は、太陽から照射された光が植物や建築物などに反射して現れる物体色の集まりです。例えば、緑色の木の葉は、太陽光のうち緑の波長域を選択的に反射しているため、緑色と知覚されるのです。

一方、赤や黄色、紫などの鮮やかな色彩を建築物等の外壁に大きな面積で用いると、外壁に反射して生まれる色づいた光が周辺のまち並みにも影響を与えます。派手な色彩の外壁に隣接する窓からは、外壁と同じ強い色調の光が差し込むことになり、周辺の人たちは好むと好まざるとに関わらず、この色光の中で暮らさなければならなくなります。

住宅の色彩を選ぶのは楽しいことですが、その色彩が周辺に与える影響を十分に考慮し、派手な色彩はできるだけ避けることが大切です。

町田市景観計画による色彩の基準

景観計画による届出対象行為と規模

【建築物の建築等】

建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更で次のいずれかに該当するもの

・高さ≧10m
・集合住宅で戸数が9戸以上のもの
・延べ面積≧1,000㎡

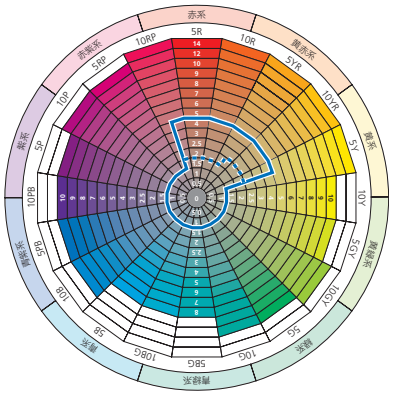
【工作物の建設等】

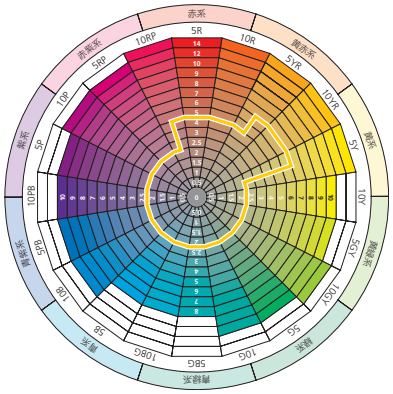
工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更で次のいずれかに該当するもの

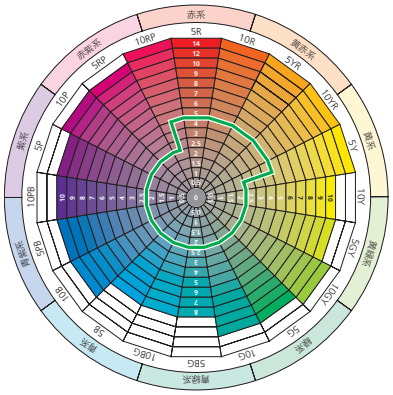
・高さ≧10m　など

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0R～4.9YR	4以上8.5未満の場合	4以下
		8.5以上の場合	1.5以下
	5.0YR～5.0Y	4以上8.5未満の場合	4以下
		8.5以上の場合	2以下
	その他	4以上8.5未満の場合	1以下
		8.5以上の場合	
強調色	0R～4.9YR	——	4以下
	5.0YR～5.0Y		6以下
	その他		2以下
屋根色（勾配屋根）	0R～5.0Y	6以下	4以下
	その他		2以下

色相ごとの彩度許容範囲



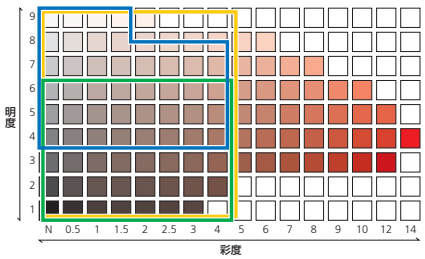




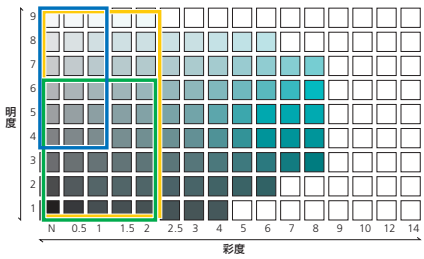
凡例

- 外壁基本色の使用可能範囲（外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択）
- 強調色の使用可能範囲（外壁各面の1/5以下で使用可能）
- 屋根色の使用可能範囲

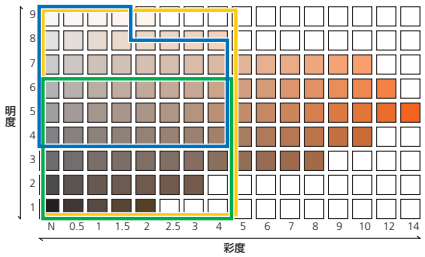
R（赤）系の色相



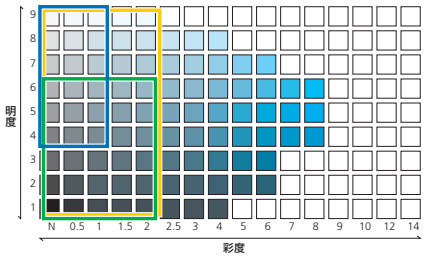
BG（青緑）系の色相



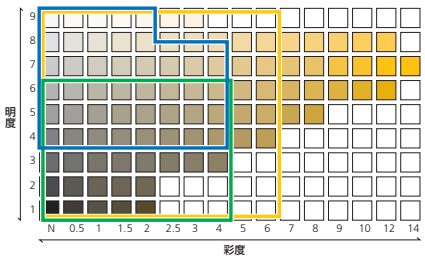
0YR～4.9YR（黄赤）系の色相



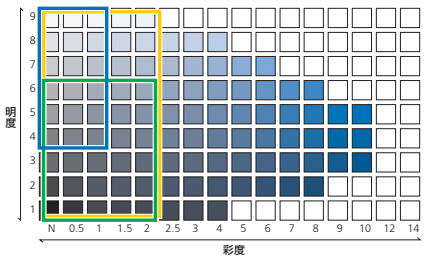
B（青）系の色相



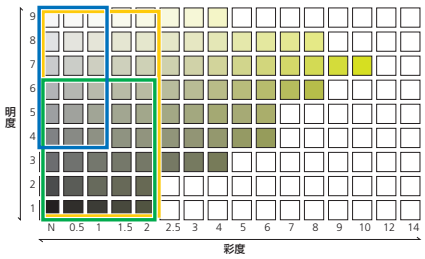
5YR（黄赤）～5Y（黄）系の色相



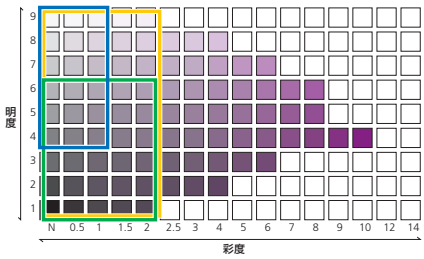
PB（青紫）系の色相



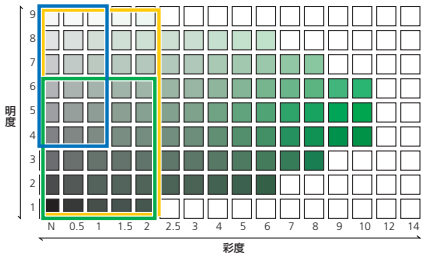
5.1Y（黄）系～GY（黄緑）系の色相



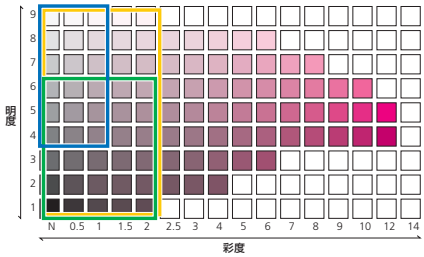
P（紫）系の色相



G（緑）系の色相



RP（赤紫）系の色相



色彩景観の基本的な考え方

にぎわいの中にもゆとりやうるおいが感じられる色彩景観の形成

にぎわいゾーンでは、商都としてのにぎわいの中にもゆとりやうるおいが感じられる景観を形成するため、周囲から突出する派手な色彩を避け、適度なメリハリが表現できる中・低彩度色に誘導します。

外観を特徴づける強調色などは、まちのにぎわいを創出するため主に低層部で用い、広告物は色彩とともに位置や表示内容、表現方法を工夫することが大切です。

色彩基準に適合した色彩の例

（上段：マンセル記号、下段：日本塗料工業会標準色見本帳番号）

建築物の外壁

5.0YR8.5/0.5 [15-85A]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.0/2.0 [19-80D]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y8.5/0.5 [25-85A]	5.0G8.0/0.5 [45-80A]	N9.0 [N-90]
5.0YR8.0/2.0 [15-80D]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	2.5Y8.0/4.0 [22-80H]	5.0Y8.0/1.5 [25-80C]	5.0G7.0/2.0 [45-70D]	N8.5 [N-85]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/3.0 [22-75F]	5.0Y7.5/1.5 [25-75C]	5.0G6.0/2.0 [45-60D]	N8.0 [N-80]
5.0YR7.0/4.0 [15-70H]	7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.0/4.0 [22-70H]	5.0Y7.0/2.0 [25-70D]	5.0PB7.0/2.0 [75-70D]	N7.5 [N-75]
5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR6.5/1.0 [19-65B]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y6.0/2.0 [25-60D]	5.0PB6.0/2.0 [75-60D]	N7.0 [N-70]

建築物の屋根

5.0R4.0/2.0 [05-40D]	5.0YR3.0/3.0 [15-30F]	5.0YR4.0/4.0 [15-40H]	10YR5.0/4.0 [19-50H]	10YR4.0/3.0 [19-40F]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	5.0GY4.0/2.0 [35-40D]	N5.0 [N-50]
10R3.0/3.0 [09-30F]	5.0YR2.0/1.0 [15-20B]	2.5YR3.0/4.0 [12-30H]	7.5YR4.0/4.0 [17-40H]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	2.5Y3.0/2.0 [22-30D]	5.0PB3.0/2.0 [75-30D]	N3.0 [N-30]

コラム Column

光と色彩2 …ガラスやソーラーパネル

西日を強く反射するミラーガラス

建築物等の外装材の中には、鏡面仕上げの金属板やミラーガラスなど、太陽光を強く反射する性質を持つものが見られます。また、省エネルギー指向の高まりとともに、急速に普及した太陽光発電装置にも同様の性質が見られます。

反射性の強い建材は、斬新な印象を創り出すのに適していますが、こうした建材から発せられる強い反射光は、近隣ばかりでなく遠くの景観にも影響をおよぼす場合があります。

特に、西日の反射や色づいたネオンサインなどの反射はとてもまぶしく、見る人に不快感を与えることも少なくありません。

建築物等の外装を計画する際には、色彩ばかりでなく、周囲に不快なまぶしさを与えないよう反射光にも考慮し、周辺を思いやることが大切です。